

# 黒石市の名所マップ



## 【金平成園】（澤成園）

金平成園は、別名「澤成園」で知られており、「大石武学流（武学流）」と称される流派で作庭された庭園です。幕末から近代にかけて、津軽地方を中心に広まった大石武学流の作風を良好に伝える庭園であり、初期の大石武学流を理解するうえで重要な庭園であることから、平成18年に名勝に指定されました。

平成27年度からは一般公開が行われ、多くの人が美しい庭を見に訪れています。



## 【りんご史料館】

全国唯一のりんご試験場（現研究所）は、昭和6年イギリスのイーストモーリング研究所を模して建設され、歴史的にも価値のある建造物です。

昭和43年の建て替え時に、試験場の旧庁舎を利用して「史料館」を開館。平成14年秋に、リニューアルオープンしたクラシックな趣の同館は、これまでの試験研究の成果や、青森りんごの歴史を学ぶことができます。他、観光や学習の場としても活用できます。

## 【中町伝統的建造物群保存地区】

江戸時代の町割りりでできた中町は、旅人や商人が行きかう商家町として栄え、「こみせ」と呼ばれる木製の庇が建てられました。「こみせ」は日差しや雨、雪から人々を守り、快適に往来するために欠かせないものでした。

中町には「こみせ」が連なった町並みが現在も良好な状態で残されている他、国の重要文化財「高橋家住宅」や造り酒屋など、築200年以上の建物が立ち並び、いにしえを彷彿させてくれます。



## 【黒石温泉郷】

黒石温泉郷には、湯湯・落合・板留・青荷などがあり、それぞれ個性豊かな成分の源泉に恵まれています。いで湯の里として知られ、昔から湯治場として多くの人に親しまれてきました。

中でも、ランプの宿で有名な青荷温泉は、八甲田連峰の山々に囲まれた山峡の秘湯といわれ、昭和6年に歌人・丹羽洋岳が住みついて開拓。青荷溪流のせせらぎを聞きながら露天風呂を楽しめるなど、自然の織りなす四季の情緒を楽しめます。



## 【中野もみじ山】

中野もみじ山は、享和2年(1802年)弘前藩主津軽寧親公が京都から百余種の楓苗を取寄せ、翌年移植したことが始まりで、それから、京都の紅葉名所である「嵐山」に対して、「小嵐山」と呼ばれるようになったと伝えられています。毎年、紅葉の季節になると県内外から多くの観光客が訪れるほど、紅葉の名所として有名です。夜にはライトアップも行われ、日中とは別の景色を見ることができます。また林中には、中野神社・不動館跡があり、津軽三不動尊の一つがまつられています。



## 【津軽伝承工芸館】

津軽伝承工芸館は、津軽の伝統的な文化を伝える観光施設です。施設内にある各工房では、約300年の歴史を誇る伝統工芸「津軽塗」などの職人たちによる実演が行われ、津軽の風土と文化、そして匠が織りなす伝統工芸を身近に「見て」「触れて」「体験」することができます。

また、中央のこみせ広場には、天然温泉を利用した足湯が設けられ、老若男女問わず、ゆっくりと足湯を楽しむことができます。



## 【津軽こけし館】

昭和63年にオープンした津軽こけし館は、津軽系湯湯こけしの創始者盛秀太郎翁の作品をはじめ、全国から収集したこけしを含む約4,000点の木地玩具や、各界の著名人が絵付けした「こけしアートコレクション」などが展示されています。

館内では、こけし制作の実演を見学できる他、予約でこけしの絵付け体験をすることもできます。

また、季節ごとにイベントや特別展を開催しています。

